

2025年IT市場トレンド: 日本

日本のデジタルトランスフォーメーションは、レガシーインフラ、先端技術、そして大規模な国家政策改革が交差する重要な局面を迎えており、ITおよびビジネスの在り方を根本から再構築しつつあります。クラウド、AI、量子コンピューティングを中心とした数兆円規模の投資がイノベーションを加速させる中、日本は持続的な経済成長、社会的レジリエンス、そしてグローバル競争力の強化に向けたポジショニングを進めています。この変革は単なる技術導入にとどまらず、企業の業務運営、価値提供、顧客との関わり方を、急速に進化するデジタル経済の中で再定義する取り組みでもあります。

市場規模は2025年の13兆2300億円から2030年に15兆300億円へ(CAGR 3.39%)と見込まれる一方、課題は山積です。企業は人材不足、セキュリティリスク、レガシーモダナイゼーションの喫緊性に直面。デジタル変革が中核課題となるなか、成功の鍵はアジャリティ、ビジネスインテリジェンス、顧客中心主義です。



1. 大規模な政府投資：

日本政府は、中小企業の生産性向上、賃上げ、インフラ近代化などに70兆円超を投じ、デジタル化を推進しています。RapidusやABCI 3.0を含む旗艦案件を支援し、[半導体の革新](#)、AI研究開発、量子コンピューティングを加速しています。

2. 不十分なサイバーセキュリティ能力：

サイバー犯罪の増加を背景に、日本はサイバーセキュリティ人材が11万人超不足し、需給ギャップは97.6%に達しています。リスク成熟度とレジリエンスを損なう状況を受け、「能動的サイバー防御法」などの法整備や官民連携の投資が進んでいます。

3. レガシーシステムの陳腐化：

老朽化したITインフラは、[年間最大12兆円の生産性損失を招く可能性があります](#)。数十年前に構築されたレガシーが寿命を迎え、公民双方で近代化が急がれています。

4. AI導入の課題：

97%の日本企業がAIの戦略的価値を見込む一方、パイロットからの脱却に苦戦しています。社内知見の不足、計画の分断、スケーラビリティ懸念が実装を妨げ、基幹領域での本格展開が停滞しています。

5. UXのローカライゼーションとパーソナライゼーション：

日本の消費者は、文化・言語・行動のニュアンスを映す体験を求めています。企業はAIによるパーソナライゼーションと、人間中心で文化に響く設計ができるUX人材への投資を強化し、エンゲージメントとロイヤルティを高めています。

6. 深刻なIT人材不足：

クラウド、DevOps、ビッグデータ分析、サイバーセキュリティ、AI/ML、ERPで熟練人材が不足。賃金上昇と[海外人材への依存が進み](#)、各社は採用基準の再評価とリスクリキング投資を強化しています。

7. ハイブリッドワークの動向：

ハイブリッドワークは、柔軟性を求める声と従来の出社前提の期待が衝突しがちで、依然として複雑です。法改正が柔軟な働き方を後押しする一方、文化的規範やインフラ制約が企業方針を左右し続けています。

デジタル変革が成長の中核となるなか、日本企業は技術進化、働き方の変化、制度改革に俊敏に対応する必要があります。TEKsystemsは、深いドメイン知見と40年のグローバル実績を基盤に、柔軟かつコスト効率の高いソリューションでモダナイゼーションを加速。高品質・スケーラブルなカスタム支援により、AI導入、クラウド移行、サイバーセキュリティ、データ品質向上、規制対応を支援します。

パートナーになる

ビジネス変革を加速したい企業へ。TEKsystemsは、レジリエントでスケーラブルなデジタルエコシステムを構築し、顧客体験を高め、テクノロジーROIを最大化し、持続的な収益成長を後押しする信頼のパートナーです。

ビジネス変革を加速

TEKsystemsについて

私たちは企業の変革を支えるパートナーです。企業の新たな成長機会を最大限に活用するためのアイデアやソリューションを実現し、成長を後押しします。現在、北米、欧州、アジア太平洋地域で6,000社以上のクライアントと協働する確固たるチームです。人材ソリューションとサービスの分野で業界をリードし、変革を目指すリーダーと共に変革を推進します。これが真のパートナーシップの力です。TEKsystemsはAllegis Groupの企業です。

詳細は[TEKsystems.com](#)をご覧ください。